

## □ 国の算出方法 ※市独自に算出することも可能

①	必要受入時間数 (時間／月)	0歳6か月から満3歳未満の未就園児童数 × 月一定時間（10時間が基本） ※ 上記の算出式に利用割合を乗じて算出することも可能
②	必要利用定員 ⇒確保方策 (人日／月)	必要受入れ時間数（①） ÷ 定員一人1月当たりの受入れ可能時間数（176時間（8時間×22日）が基本）

□ 現行計画における数値目標 ※ 計画では対象年齢ごとの必要定員数を算出  
(未就園児数)

	R7	R8	R9	R10	R11
未就園児童数 (人)	2,928	2,909	3,000	3,016	3,033

児童一人1月あたりの利用可能時間  × 10時間

(必要受入時間数①)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要受入時間数 (時間／月)	29,280	29,090	30,000	30,160	30,330

定員一人1月当たりの受入れ可能時間  ÷ 176時間

(量の見込み・確保方策②) 現行の計画値

	R7	R8	R9	R10	R11
量の見込み (人日／月)	166	165	170	171	172
確保方策 (人日／月)	21※	165	170	171	172

※ 4事業所による実施を踏まえ設定

現在、計画で定めている必要利用定員数（量の見込み・確保方策）は、こども誰でも通園制度を実施する前に設定しているため、利用割合は考慮していない



安定的で持続可能な制度運営を実施するためには、過不足のない施設整備が不可欠



令和7年度実績及びアンケート調査結果を踏まえ、「量の見込み」と「確保方策」の見直しを実施

## □ (変更後)こども誰でも通園制度の数値目標(案)

(未就園児数)

	R7	R8	R9	R10	R11
未就園児童数	2,928	2,909	3,000	3,016	3,033

こども誰でも通園制度を  
利用したいと思う人の割合



× 66.9%  
(アンケート結果より)

(利用認定者数)

	R7	R8	R9	R10	R11
利用認定者数	1,959	1,946	2,007	2,018	2,029

利用認定した人のうち、  
実際に利用した人の割合



× 33.3%  
(利用実績より)

(利用者数)

	R7	R8	R9	R10	R11
利用者数	652	648	668	672	676

平均利用時間



× 7時間  
(利用実績より)



× 10時間

(必要受入時間数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要受入時間数	4,566	4,536	4,678	4,703	4,730



÷ 176時間

(必要利用定員数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要利用定員数 (量の見込み)	28	28	29	29	29

### アンケート調査

調査期間：令和7年10月1日～15日

対象者：対象児童の全保護者

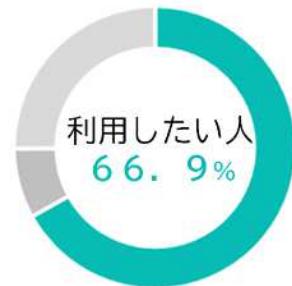
(2,448人)

※R7.9.1時点

調査方法：全戸へ個別通知（郵送）

回答方法：郵送又は電子申請

回答者数：305人



### 利用実績（令和7年9月）

利用認定者数：219人

利用者数：73人



(必要受入時間数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要受入時間数	6,523	6,481	6,683	6,719	6,757



÷ 176時間

※実績ベース

(必要利用定員数)

	R7	R8	R9	R10	R11
必要利用定員数 (確保方策)	12*	38	40	40	40